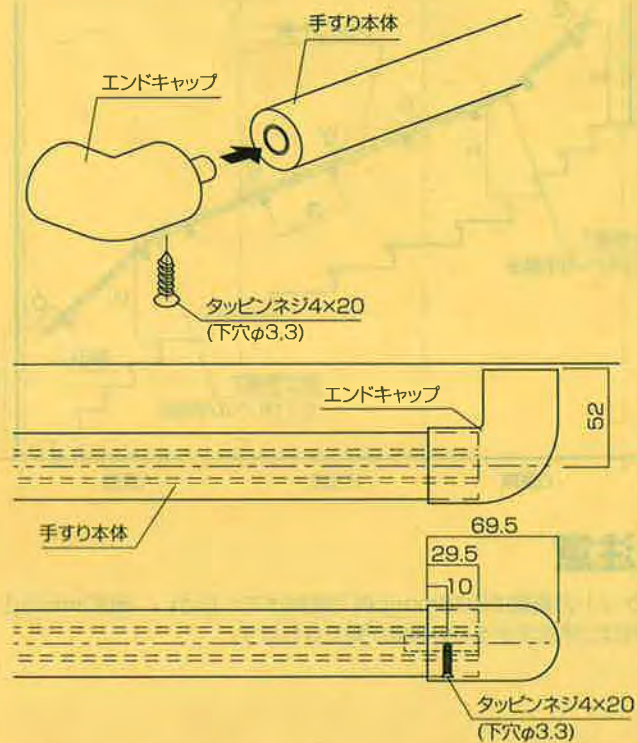
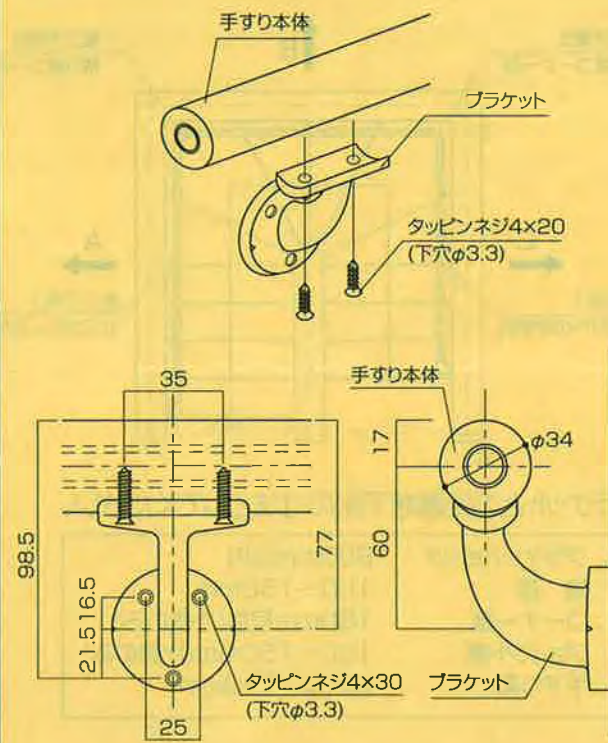


エンドキャップ取付方法



手すり本体は金ノコで切断できます。

手すりブラケット取付方法



⚠ 注意

タッピンネジは30kgf・cm程度で締め込んでください。締め込みが強すぎるとネジ山を壊すおそれがあります。

手すり本体の曲げ方法(参考)

- 膝等を利用して折り曲げてください。
- 曲げる際に、手すり本体のパイプ芯材にスプリングバンダーを差し入れて折り曲げると、手すりのつぶれを防いで、きれいに曲げることができます。曲げ終わったあと、スプリングバンダーを引き抜く際は、左に回しながら引き抜くと簡単に抜くことができます。無理に引き抜くとスプリング部分が伸びてしまい、使えなくなることがあります。



※スプリングバンダー購入の際は下記支店、営業所へお問い合わせください。



⚠ 注意

楽楽[ら〜くらく]の手すり本体は、膝にタオルなどをあてがって曲げてください。膝の負担が少なく、より曲げやすくなります。

室内手すり 楽楽 ら〜くらく

取扱説明書

Treatment instruction

この度は、室内手すり楽楽[ら〜くらく]をご購入いただきましてありがとうございます。

本書は安心してご使用いただくため、使用上の注意事項を記載したものです。よくお読みになってご使用くださいますようお願いいたします。

お客様へお願い

ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく使用してください。

⚠ 注意

この表示を実行しない場合、
傷害を負う可能性と物的損害
の発生が想定される内容を
示しています。

■お客様が商品をより安全にご使用いただくために、事故を回避するための注意事項をあげています。

■お読みになったあともすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。

お手入れ



ふだんはやわらかい布でふいてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をしみこませた布でふき、その後水ぶきしてください。

酸性、アルカリ性洗剤はつやを失ったり変色するので使用しないでください。

クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤、ナイロントワシなどの傷を付けやすいものは使用しないでください。



傷がついた場合の補修は、日曜大工店などで扱っている家具用補修材を使用できます。ただし完全には復元出来ませんのでご了承ください。
(ウッドエポキシパテ、カラーパウダーなど)

使用上の注意

⚠ 注意

◎手すりの上に乗ったりぶらさがったりしないでください。製品および取付け部分の壁が壊れるおそれがあります。

◎手すり強い衝撃を与えないでください。使用中に壊れて思わぬけがの原因になります。

◎手すりに火を近づけないでください。表面が変形、変色します。

◎定期的にネジの締め具合を確認してください。また使用上、ガタツキを感じた際はドライバーで締め込んでください。手すりにガタツキがあると思わぬけがの原因になります。

⚠ 注意

施工前に施工要領書をよくお読みの上、正しく施工してください。

- 本説明書は施工終了後、お客様にお渡しください。
- 施工要領書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適当な施工により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

① 施工準備

セット内容の確認をしてください。

1. セット内容

手すり本体(笠木 L=3,025mm)半硬質樹脂成形品・木目調	2本	タッピンネジ(4×30ブラケットと壁固定用)	27本
エンドキャップ(右用・左用) 樹脂成形品	各1コ	同予備	2本
ブラケット 樹脂成形品	9コ	タッピンネジ(4×20手すり本体とブラケット固定用)	18本
ジョイナー 樹脂成形品	1コ	同予備	1本
ジョイント芯材(アルミ棒)	1本	タッピンネジ(4×20エンドキャップと本体及びジョイント芯材固定用)	4本
		同予備	1本

2. 使用工具

●ドライバー ●電動ドライバー(ドリル兼用) ●鉄用キリ(φ3.3) ●金ノコ ●チョークライン ●スプリングバンダー(別途販売いたします)等

⚠ 注意

- 電動ドライバーでタッピンネジの締め付けをする場合、トルクは30kgf・cm程度で使用してください。
- インパクトドライバーはタッピンネジのネジ山を壊すおそれがあるので使用しないでください。

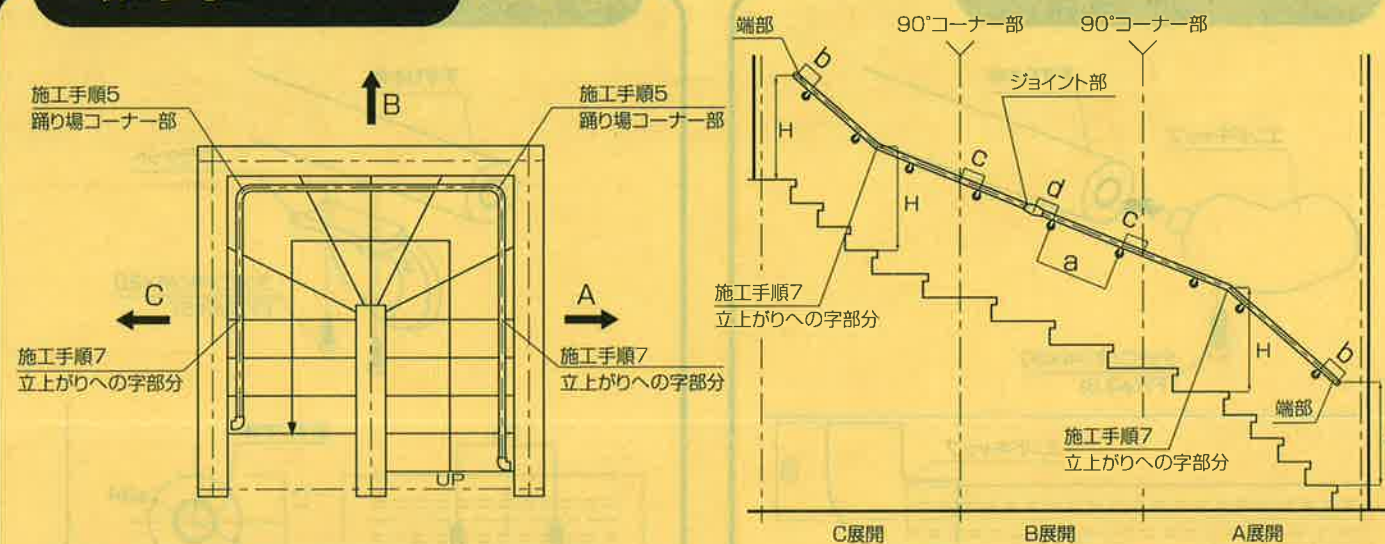
② 現場状況の確認

壁の仕上りが完了していること。また手すり取付部に壁の下地があるかを確認します。

③ 施工手順

- | | | |
|--|---|---|
| <p>① 墨出し
手すり本体及びブラケットの高さ</p> <p>② 全長を測りジョイント部の位置決め</p> <p>③ ブラケットの位置決め
ピッチ800mm以内</p> <p>④ ブラケットの固定
壁面に固定</p> <p>⑤ 手すり本体の曲げ
踊り場コーナー部(取付参考図参照)</p> | <p>⑥ 水平曲げた手すり本体の仮固定
手すり本体をブラケットに仮固定</p> <p>⑦ 手すり本体の曲げ
立上がり、への字部分(取付参考図参照)</p> <p>⑧ エンド部分の寸法調整
手すり本体の切断</p> <p>⑨ 手すり本体の固定
手すり本体をブラケットに固定</p> | <p>⑩ ジョイント芯材の固定
下穴あけタッピンネジ止め
(ジョイナーの嵌め込み)</p> <p>⑪ 手順⑤～⑨の繰返し</p> <p>⑫ エンドキャップ取付け
下穴あけタッピンネジ止め</p> <p>⑬ 片付けて終了</p> |
|--|---|---|

取付参考図



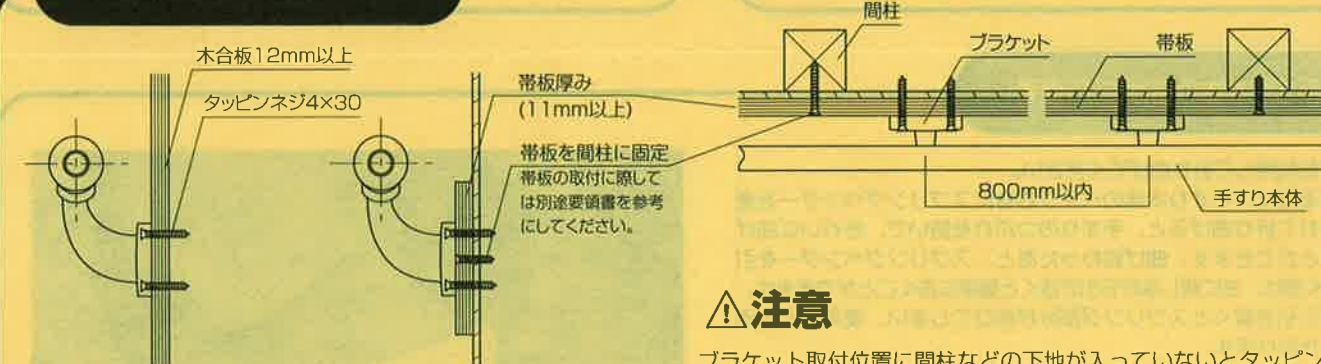
ブラケットとの距離を下記の寸法としてください。

a: ブラケットピッチ	800mm以内
b: 端部	100～150mm
c: コーナー部	180mm程度(片側のみ)
d: ジョイント部	100～150mm(片側のみ)
H: 手すり高さ	推奨高さ750mm

⚠ 注意

ブラケットの間隔は800mm以内で取付けてください。800mm以上で取付けた場合は手すりの強度が弱くなります。

下地への取付例

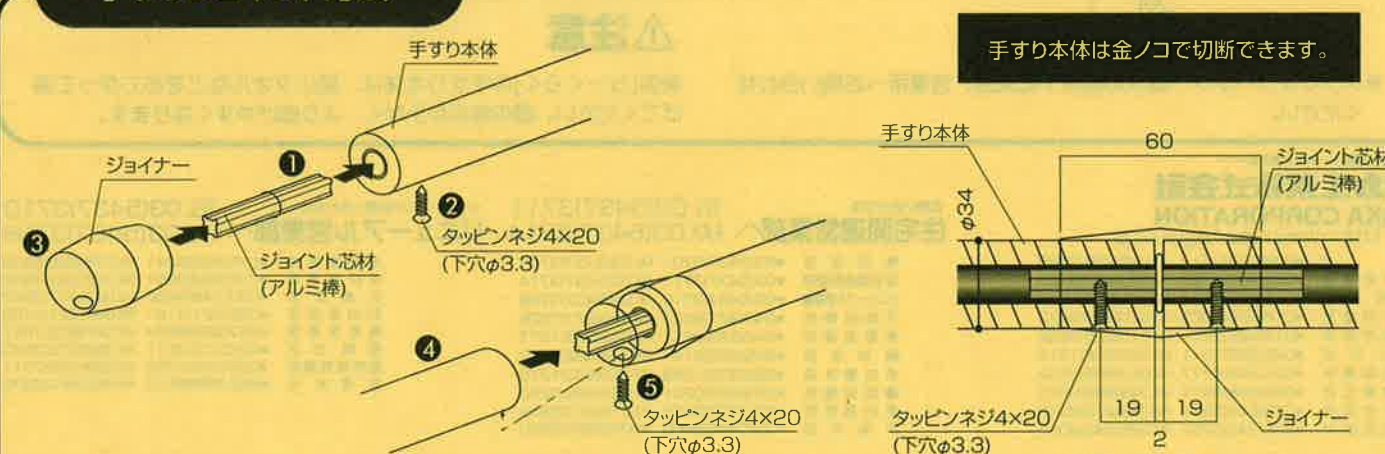


※帯板はオプションとして用意しますのでご相談ください。

⚠ 注意

ブラケット取付位置に間柱などの下地が入っていないとタッピンネジがゆるみ、ガタツキやはずれの原因になり危険です。必ず間柱などの下地にネジ止めをするか、帯板を使用してください。

手すりジョイント方法



手すり本体は金ノコで切断できます。